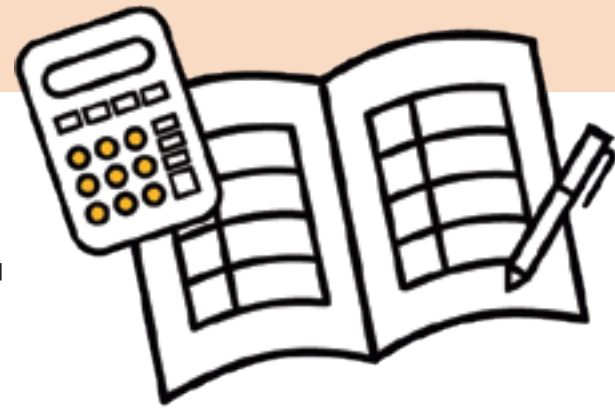


決算報告



市民の皆さんに納めていただいた税金や、国や県から交付されるお金がどのように使われたのかをお知らせします。

■問合せ / 【決算報告】 会計課審査出納担当、【財政状況】 財政課財政担当 ☎ 22-5111

一般会計 歳入

市の収入

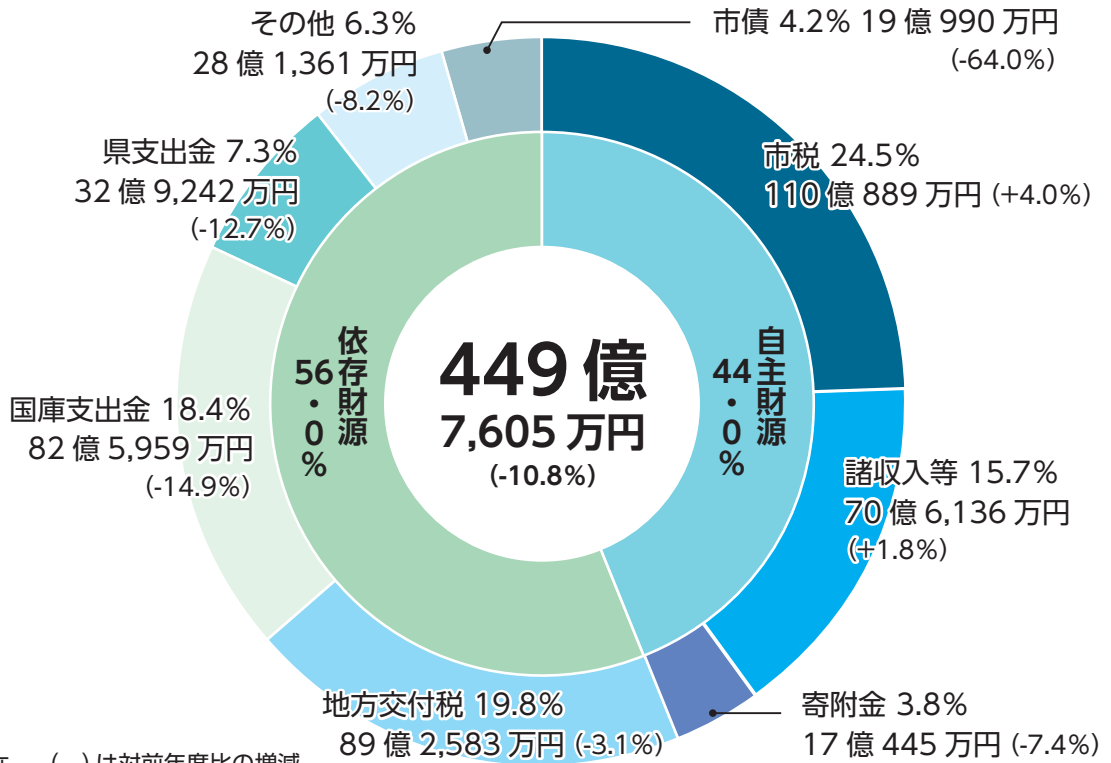


前年度から
約 54 億
4,915 万円減



市民 1 人当たり
58 万 7,492 円

令和 5 年 3 月 31 日現在 () は対前年度比の増減



一般会計・特別会計の決算状況

会計名	収入	支出	差引額	実質収支額※
一般会計	449 億 7,605 万円	431 億 4,902 万円	18 億 2,702 万円	14 億 5,717 万円
特別会計 (内訳①~⑧)	182 億 9,292 万円	176 億 6,806 万円	6 億 2,486 万円	6 億 2,486 万円
①国民健康保険事業勘定	79 億 1,088 万円	77 億 5,837 万円	1 億 5,251 万円	1 億 5,251 万円
②後期高齢者医療費	10 億 3,294 万円	10 億 1,194 万円	2,099 万円	2,099 万円
③介護保険事業勘定	90 億 3,298 万円	86 億 2,795 万円	4 億 503 万円	4 億 503 万円
④と畜場及び食肉市場費	2 億 2,376 万円	2 億 2,376 万円	-	-
⑤青果物地方卸売市場費	2,942 万円	2,942 万円	-	-
⑥物品調達費	1,900 万円	1,596 万円	304 万円	304 万円
⑦南原財産区費	1,776 万円	32 万円	1,744 万円	1,744 万円
⑧三沢東部財産区費	2,619 万円	34 万円	2,585 万円	2,585 万円
合計	632 億 6,897 万円	608 億 1,709 万円	24 億 5,189 万円	20 億 8,204 万円

※実質収支額…歳入歳出の差引額から、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた収支。

事業会計の決算状況

会計名	収入	支出	差引額	
水道事業	収益的収支	19 億 3,253 万円	16 億 4,995 万円	2 億 8,258 万円
	資本的収支	6,275 万円	6 億 98 万円	- 5 億 3,823 万円
下水道事業	収益的収支	21 億 5,457 万円	22 億 5,369 万円	- 9,912 万円
	資本的収支	16 億 2,554 万円	21 億 9,853 万円	- 5 億 7,299 万円
病院事業	収益的収支	83 億 6,916 万円	83 億 3,520 万円	3,396 万円
	資本的収支	43 億 9,024 万円	45 億 2,652 万円	- 1 億 3,628 万円

(表示単位で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。)

市税…市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税など

諸収入等…諸収入、繰越金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰入金

寄附金…ふるさと納税制度などでいただいたお金

地方交付税…市町村の財政力に応じて国から交付されたお金

国庫・県支出金…特定の事務・事業のための財源として、国や県から交付されたお金

その他…地方交付税以外の交付金など(地方消費税交付金、地方譲与税、地方特例交付金、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、交通安全対策特別交付金、環境性能割交付金)

市債…国や金融機関などから借り入れたお金

歳入歳出ともに減少

〔歳入〕

歳入（市の収入）は令和3年度と比べて、約54億4915万円減少しました。主な要因は、国庫支出金が、子育て世帯特別給付や非課税世帯等特別給付に係る子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金の減などで減少したことや、地方債が、市庁舎建替事業や臨時財政対策債、南原および田沢コミュニティセンター建替事業の減などで大幅に減少したことが挙げられます。

〔歳出〕

歳出（市の支出）は令和3年度と比べて、約58億2484万円減少しました。主な要因は、総務費が、庁舎建替事業費の大幅な減に加え、公共施設等整備基金や減債基金などの基金積立金の減などで減少したことや、民生費が、子育て世帯等臨時特別支援事業費や住民税非課税世帯等臨時特別支援事業費の減などにより減少したことが挙げられます。

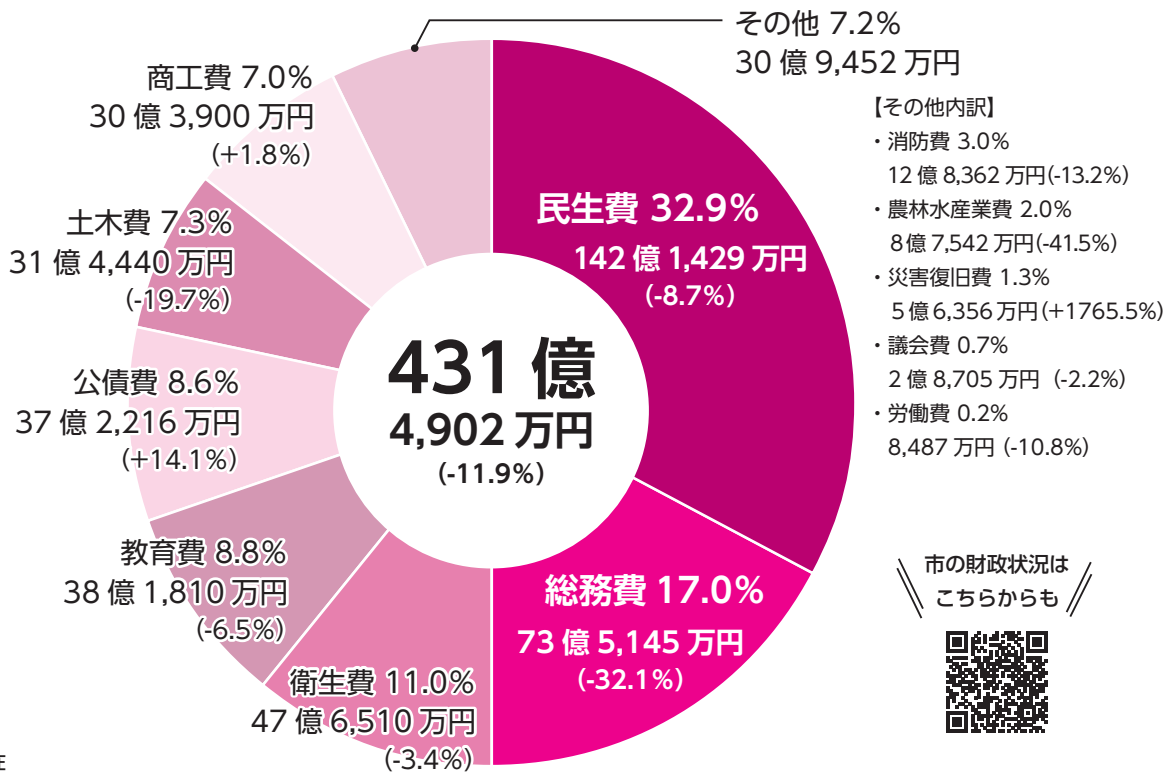
一般会計歳出

市の支出

前年度から約58億2,484万円減

市民1人当たり56万3,627円

令和5年3月31日現在



監査委員の審査意見

令和4年度決算審査の結果

各会計の決算および付属書類並びに基金の運用状況を示す書類は法令に準拠して処理されておりかつ、計数は正確であり、予算の執行についても、おおむね適正であると認めます。

財政の健全性については「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に準拠して審査し、実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字で問題なく、実質公債費比率・将来負担比率ともアラームポイントである早期健全化基準に対し、良好な数値を示し、市の財政状況はおおむね良好と認められ財政の健全化は一步ずつ進んでいると認めます。

今後の課題は、歳入面では

シアのウクライナ侵攻の長期化や円安による物価高に伴う地方経済への影響、少子高齢化により先が見えにくく、歳出面では市庁舎建替後の地方債の償還増加と市立病院の建替・統合中学校の整備など、大型の建設事業など歳出の増加が予測され、財政面、資金繰りでは徐々に厳しさが顕在化すると考えます。先の見えない状況の中、投資に見合う財政力の確保が必要です。効率的な財政運営を目指し、市民の信頼と期待に応える健全な財政状況の維持に期待します。

- 民生費**…子育て支援、福祉、医療給付などの経費
- 総務費**…市の全体的な管理のための経費
- 衛生費**…疾病予防や健康増進、環境保全などの経費
- 教育費**…学校、生涯学習、スポーツ振興などの経費
- 公債費**…市の借入金（市債）返済のための経費
- 土木費**…公園や道路の整備、除排雪などの経費
- 商工費**…商工業の振興、観光事業などの経費
- 消防費**…消防・救急業務などの経費
- 農林水産業費**…農業や林業の振興などの経費
- 災害復旧費**…自然災害の復旧工事などの経費
- 議会費**…市議会運営のための経費
- 労働費**…雇用対策や勤労者福祉などの経費



財政指標からみる

米沢市の財政状況

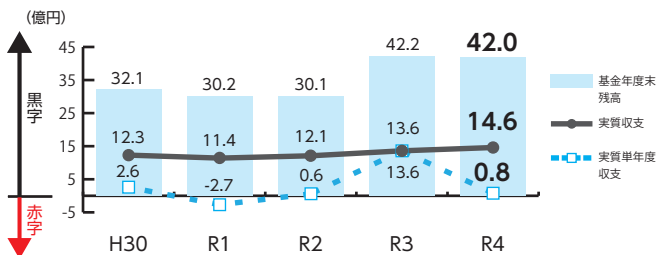
4つの財政指標を基に、令和4年度の本市の財政状況を報告します。

「財政指標」とは、地方公共団体の財政状況を見るための指標です。



1 収支の推移と財源調整基金

財源調整基金とは、年度間の財源の不均衡を調整するための貯金を指します。令和4年度の年度末残高は約42.0億円となりました。また、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策に取り組んできたところですが、実質単年度収支は約0.8億円の黒字となり、3年連続で黒字となりました。

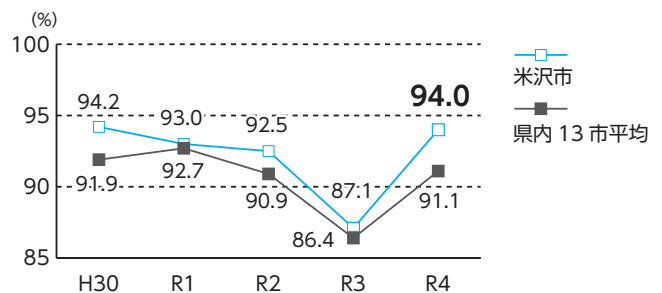


実質収支…歳入歳出の差引から翌年度に繰り越して実施する事業のための財源を除いたもの

実質単年度収支…実質収支から前年度の繰越金や財源調整のための基金(貯金)への積立・取崩しなどを除いたその年度のみ収支バランスを表すもの

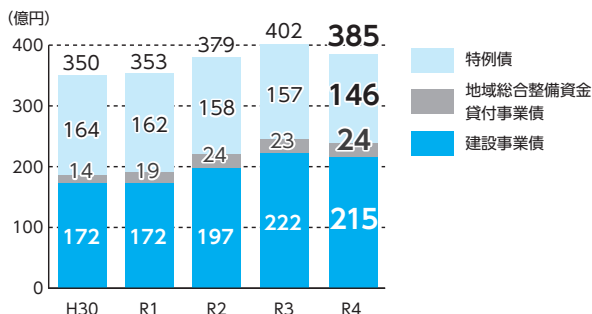
2 経常収支比率

経常収支比率とは、市税や普通交付税など毎年度入るお金に対して、人件費や社会保障費、借入返済金など必ず払わなければならない経費が占める割合を表します。この比率が低いほど、臨時的な経費に使えるお金が多いことを意味し、様々な市独自のサービスができることにつながります。令和4年度の本市の経常収支比率は94.0%と前年度より上昇しました。



3 市債の年度末残高

市債とは、市が建設事業などの財源を調達するために行う長期の借金を指します。市債のうち、建設事業債の残高は減少傾向にありましたが、令和2年度以降は庁舎建替事業やコミュニティセンター建替事業などの大規模事業によって市債の発行が増え、令和4年度はそれらの元金償還が増加したことなどにより残高は再び減少しました。



※地域総合整備資金貸付事業債は、貸付を受けた企業からの返済金が償還に充てられるため、本市の将来負担には影響しません。

4 健全化判断比率

地方公共団体には、財政の健全度を客観的に表す4つの指標を公表することが義務付けられています。

これらの指標にはそれぞれ2段階の基準が定められていますが、本市は全ての項目で基準を下回っています。

項目	本市の数値		早期健全化基準	財政再生基準	県内13市平均
	R3	R4			
実質赤字比率	赤字額なし		12.47%	20.0%	-
連結実質赤字比率	赤字額なし		17.47%	30.0%	-
実質公債費比率	7.8%	7.8%	25.0%	35.0%	8.2%
将来負担比率	47.8%	41.2%	350.0%	-	52.5%

実質赤字比率…一般会計などの実質収支の赤字の割合

連結実質赤字比率…全ての会計を合わせた実質収支などの赤字の割合

実質公債費比率…借入金などの返済額の割合

将来負担比率…将来にわたって支払う借入金などの負債の割合

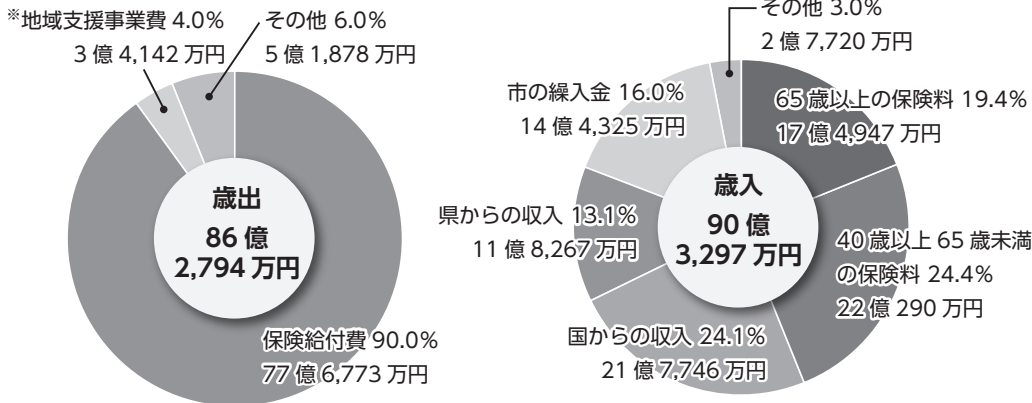


介護保険事業の実施状況

問合せ / 高齢福祉課事業管理担当

介護保険制度は、40歳以上の方が加入者となり、保険料を納め、介護が必要となったときにサービスを受けることができる制度です。本市では様々な介護予防事業を実施しています。天気の良い日に散歩に出掛けてみる、お茶を飲みにお友達を訪ねてみるなど、身近なことも介護予防になります。充実した毎日を過ごして元気に健康長寿を目指しましょう。

◆令和4年度 介護保険事業勘定特別会計の決算



歳出は約90%が保険給付費です。これは、通所介護などの居宅サービス、グループホームなどの地域密着型サービス、特別養護老人ホームなどの施設サービスを利用したときに、介護保険で負担している費用です。

※地域支援事業費…介護予防教室の開催や地域包括支援センターの運営のための費用
注) 万円未満を切り捨てたため、合計金額と内訳の金額は一致しません。

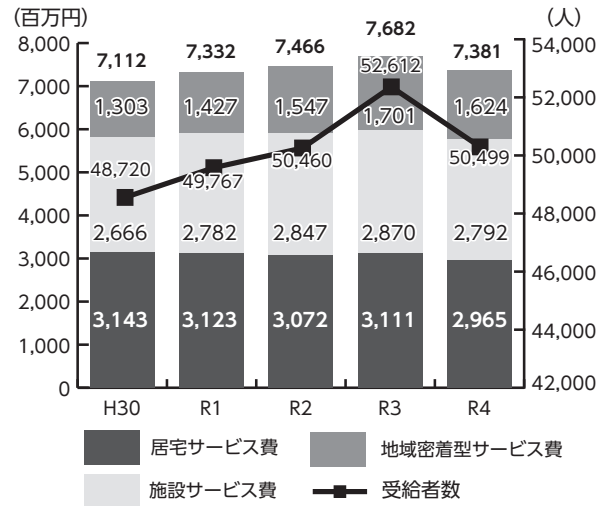
◆高齢化率と介護認定率

	高齢化率 (%)			介護認定率 (%)
	本市	山形県	全国	本市
R2 年度末	32.3	33.8	28.9	18.2
R3 年度末	32.5	34.3	29.0	18.0
R4 年度末	32.7	34.8	29.1	17.8

高齢化率…総人口のうち65歳以上の人の割合。全国は総務省の「人口推計」、山形県は「山形県社会的移動人口調査結果の概要」より引用
介護認定率…65歳以上のうち要支援・要介護認定を受けている人の割合

現在、本市の高齢化率は32%に達しています。山形県全体より数値は低いものの、全国を上回る数値で高齢化が進んでいます。
介護保険受給者数は、令和3年度まで増加し続けていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより令和4年度は減少しました。

◆居宅・地域密着型・施設サービスの保険給付費と受給者数の状況



特別養護老人ホーム万世園 からのお知らせ

いつもご愛顧いただきありがとうございます。
去年11月に米沢市万世町桑山に移転しております。
来園される際は、お間違えのないようお願いいたします。
新園舎になり、今まで以上に地域に寄り添い、明るく温かいサービスで皆様をお迎えしてまいります。

デイサービス、ショートステイもご利用頂けます。

(万世園) 〒992-1127 米沢市万世町牛森 4172-5 TEL 0238(28)1455

社会福祉法人 米沢栄光の里 お気軽にお問い合わせ下さい。
(法人本部 事務局) 〒992-1122 山形県米沢市万世町岸山 5494-1 TEL 0238(29)0310 (担当: 古山)

高齢者温泉利用福祉事業
「春咲き球根寄せ植え教室」

日程: 11月10日(金) 10時~12時
料金: 1,500円(税込) 入浴付
場所: 小町の湯やまぼうし 赤芝町
お申込み: (株)菊地組 ☎22-6288
申込受付: 11月6日 AM8:30~
※65歳以上の方が対象です